
日本福祉のまちづくり学会

2009 年度 総会議案書

日時：2009 年 6 月 27 日(土) 13:00～13:45

会場：日本大学 理工学部 駿河台校舎 1号館2階121会議室

議事次第：

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長団等選出（議長団2名、議事録署名人2名、記録者1名）
4. 議 事

議案-1	2008 年度 事業報告	p1
議案-2	2008 年度 決算報告	p5
議案-3	監査報告	p7
議案-4	2009・2010 年度 役員案	p8
議案-5	2009 年度 事業計画案	p9
議案-6	2009 年度 予算案	p12

5. 2009 年度全国大会開催案内
6. 2010 年度全国大会準備案内
7. 新旧会長挨拶
8. 閉 会

議案-1 2008年度事業報告

1-1 学術研究委員会 委員長 秋山哲男

1-1-1 特別研究委員会

以下の5つの特別委員会を実施した。

(1) 法制度特別研究委員会 委員長 高橋儀平

2008年度も昨年度に引き続き、バリアフリー新法の進捗状況と自治体の動向について調査研究活動を行った。特に、本年度は、新展開が見込まれる委任(付加)条例の動向とバリアフリー基本構想の動向を調査研究した。第1回委員会(2008/9/4)、第2回委員会(2008/11/20)、第3回委員会(2009/1/14)、第4回委員会(2009/3/2)

(2) 福祉交通サービス特別研究委員会 委員長 秋山哲男

「地域・福祉・交通から地域福祉交通へ」と題して福祉交通セミナー2008を開催した。「公共交通とまちづくり、地域交通の活性化に向けて、地域交通計画の制度と考え方」(2008/10/3)、「地域に適した交通システムの組み立て方、UDタクシー普及に向けた取組みと課題、これからの福祉交通・地域公共交通を考える」(2008/10/4)。

(3) 観光ユニバーサルデザイン特別研究委員会 委員長 伊澤 岬

ランチョンセミナー開催(2008/8/31 全国大会時 テーマ「観光と交通」)。研究会開催(2008/6/14、2008/8/6、2008/9/26)、「観光ユニバーサルデザイン」の執筆中(2009年度出版予定)。本特別研究委員会は2008年度をもって活動を休止。

(4) 情報障害特別研究委員会 委員長 鎌田 実

本委員会では、5年後のバリアフリー法関連ガイドラインの見直しを見据え、設計に参考となる具体的なデータや知見を提案することを目指した。2008年度は視覚障害にテーマを絞り、話題提供と意見交換を行った。

第1回委員会(2008/5/23「光のユニバーサルデザイン」、「ロービジョン者における色の効果」)、第2回委員会(2008/7/25「音のユニバーサルデザイン」、「公共空間における音案内の標準化」)、第3回委員会(2008/9/26 話題:「色覚障害・弱視(LV)に対応したサイン環境整備に係る調査研究」)、第4回委員会(2008/11/28 話題:「経済産業省・NEDOの障害者等ITバリアフリープロジェクト」、「国土交通省の自律移動支援プロジェクト」)、第5回委員会(2009/1/30 話題:「視覚障害者への異なる床仕上げ材による情報提示」、「点字・触知図の現状と課題」)、第6回委員会(2009/3月/27 関西支部との視覚障害者等の歩行支援に関する共同研究会)

下記ワーキンググループを設置

駅案内サインWG(主査:鎌田実)、音サインWG(主査:関喜一)、関西WG(音と光の研究会)(主査:北川博巳)

(5) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川万由美

第1回研究会(2008/4/7「台所からみる生活・子育て環境」)、第2回研究会(2008/5/9「社会福祉の立場から考える子育て・子育てまちづくり」)、第3回研究会(2008/7/10「子育て中の外出および社会参加におけるバリアを考える」)、第4回研究会(2008/11/25「子育て中の外出時ニーズにどう応えるか」)、第5回研究会(2008/12/15「居住環境から考える子育て・子育て～子育て支援に関する研究動向のレビュー&子育て支援マンションについて～」)

新潟大会ランチョンセミナー(2008/9/1「子育て・子育てを支えるためのまちづくりを考える」)

公開セミナー(2009/2/14「子育て外出支援最前線～子育て中の外出をもっと楽しく、らくらくと～」、「これからの商業施設トイレ～商業施設トイレに求められること～」、「ライフスタイルとベビーカーの進化について」、「babywearingを通じて子育てのバリアフリーを考える」、「授乳服でストレスフリーの子育てを」)

1-2 会誌委員会 委員長 八藤後猛

2008年7月15日 会誌Vol.10 No.1 発刊 特集「知的障害や精神障害があっても地域で安心して暮らせるまちづくりのために」他

2009年1月15日 会誌Vol.10 No.2 発刊 平成20年度 福祉のまちづくり学会全国大会、第11回全国大会(新潟) 報告、他

1-3 論文委員会 委員長 新田保次

投稿受付論文・4編

投稿受付論説・報告等論文：1編

掲載済み論文：3編 (Vol. 10 No. 1:3編、Vol. 10 No. 2:0編)

掲載済み論説・報告等論文：1編 (Vol. 10 No. 2:1編)

1-4 総務委員会 委員長 川内美彦

(1) 法人化についての経過報告

2008/5/9 内閣府公益認定等委員会事務局より法人化の概要について説明を受けた。

2008/8/26 法人化検討委員会を開催し、次のような課題を審議した。

- ・財政基盤の確立、一般社団法人、公益社団法人化のプロセス
- ・公益社団法人の認可基準
- ・事務局体制の強化
- ・支部の扱い・会計処理

2008/10 内閣府公益認定等委員会が作成したモデル定款を入手。本学会にあわせた定款案の検討を行った。

(2) 文献データベースへの加入について

国立情報学研究所が運営する学術文献のデータベースである CiNii に学会誌、全国大会概要集を提供する方向で作業を進めた。当学会の著作権規定を明確にする必要がある。

(3) 国際交流事業について

アジアの国々との国際交流事業について検討を進めた。

1-5 2009・2010年度幹事選挙結果 選挙管理委員長 河合俊宏

2008年12月、幹事選挙を実施。2008/12/27 開票の結果、以下の20氏を当選と決定。

秋山哲男、高橋儀平、川内美彦、三星昭宏、北川博巳、磯部友彦、野村歓、鎌田実、古瀬敏、新田保次、八藤後猛、佐藤克志、小山聡子、鈴木克典、田中直人、山田稔、高井広行、林豊彦、原利明、相良二朗

1-6 2009・2010年度・理事・会長・副会長・推薦幹事の選出

理事会において選挙選出幹事(選挙管理委員長報告)を承認。野村歓氏の辞退申し出を承認(2009/1/21)。

選挙選出幹事会(出席13名、委任状6名)において2009・2010年度理事として以下の10名を選出(2009/2/25)。

秋山哲男、高橋儀平、鎌田実、小山聡子、新田保次、三星昭宏、古瀬敏、川内美彦、八藤後猛、北川博巳

引き続き新理事の互選により2009・2010年度会長、副会長を以下のとおり選出(2009/2/25)。

会長：高橋儀平、副会長：新田保次、秋山哲男、古瀬敏、藤井直人

引き続き2009・2010年度推薦幹事16名、監事2名を以下のとおり選出(2009/2/25)。

推薦幹事：糟谷佐紀、中野泰志、森崎康宣、今田寛典、大森宣暁、岡田明、狩野徹、竜口隆三、土橋喜人、林隆史、原文宏、竹島恵子、野口祐子、長谷川万由美、阿部祥子、阪東美智子、永元真也、今西正義、男鹿芳則(会長推薦幹事を含む)

監事：黒寄隆、沢田大輔

1-7 第11回全国大会 実行委員長 林 豊彦

大会テーマ：いつものもてなし、こちよ交流～誰もがくらしやすく訪れたくなるまちを目指して～(2008/8/31～9/2 場所：朱鷺メッセ(新潟コベンションセンター))

研究発表(128演題)の他、基調講演：「また訪れたくなる魅力的な街へ」青山佳世さん(フリーアナウンサー)、研究討論会・総括シンポジウム(「地域の魅力づくり」、「まちづくり」、「国際交流」)、ミニシンポジウム(地域のNPO、市民団体等が企画)、展示会(企業、NPO、行政などによる取り組みの紹介)、現地視察(新潟県中越地震の被

災地(長岡市、小千谷市)を実施。

1-8 支部活動

1-8-1 北海道支部 支部長 鈴木克典

(1) 支部総会(2008年6月14日)

第12回全国大会(帯広市)に現地事務局として活動していくことが承認された。

(2) 北海道支部協力事業

・新たな公共サービスとしての移送サービスの可能性を考える研修会(主催:北海道移送・移動サービス連絡会(STネット北海道))

・函館バリアフリーボランティアプロジェクト(主催:北海道運輸局)

・雪はね隊 in 上富良野(主催:シーニックバイウエイ支援センター)

・バリアフリー推進セミナー in あさひかわ(主催:北海道運輸局)

1-8-2 東北支部 支部長代行 木村一裕

支部としての活動はできなかったが、岩手支所として学習会、勉強会を実施した。

(1) 学習会「ナタリアの夕張を元気にする方法」(いわて・ナタリア・夕張サポーターズ主催、日本福祉のまちづくり学会東北支部岩手支所後援 2008/4/20)

(2) ユニバーサル交流勉強会「やさしい受入地いわてをめざして」(企画運営:いわてNPOセンター、協力:いわてグリーン・ツーリズムネットワーク、岩手県立大学社会福祉学部、後援:日本福祉のまちづくり学会東北支部岩手支所 2009/2/21)

1-8-3 東海支部(準備) 支部設立準備会代表 磯部友彦

(1) 中部国際空港ユニバーサルデザイン利用者検証の活動に参加(2008/5)

(2) 支部の仮設立(2009年3月) 支部長:磯部友彦、幹事長:森崎康宣

(3) 2010年度全国大会開催地の検討

1-8-4 関西支部 支部長 新田保次

(1) 日本福祉のまちづくり関西セミナーの開催

第30回日本福祉のまちづくり関西セミナー(2008/6/21「バリアフリー新法でまちはこう変わる～交通バリアフリー法9年間の検証を踏まえて、関西からの発信～」)

第31回日本福祉のまちづくり関西セミナー(2008/11/29日「癒しのユニバーサルデザインを考えるー淡路島の施設見学会とトーク」)

(2) 勉強会の開催

第1回勉強会(2008/5/22「アメリカのユニバーサルデザイン、イギリスのインクルーシブデザインの最新事情を知る」)

第2回勉強会(2008/7/22「城郭における歴史的価値とバリアフリー領域の検討ー姫路城を事例としてー」)

第3回勉強会(2008/8/7博士論文発表会:視覚障害者の行動特性を考慮した歩行支援環境づくりに関する基礎的研究)

第4回勉強会(平成2008/10/30「スウェーデンにおける軽度認知症者の自立支援システムの開発状況」)

(3) 関西支部 研究準備会「音と光とサインを用いた歩行者誘導研究会」の開催

第1回(2008/12/12)、第2回(2009/3/26)

(4) 他学会等の事業への後援・協賛

ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第16回福祉のまちづくりセミナー(主催:ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議、兵庫県、兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所 2008/7/30)

移動送迎 福祉有償運送セミナー(主催:NPO法人 全国移動サービスネットワーク、関西STS連絡会 2008/11/15~16)

日本人間工学会平成20年度関西支部大会(2008/12/6 主催:日本人間工学会関西支部)

(5) その他

支部役員会(第1回:2008/4/4、第2回:2008/10/28、総会:2008/6/21)

1-8-5 中国四国支部 支部長 今田寛典

(1) 講演会・セミナー等の開催

中国四国支部総会・講演会(2008/8/2「バリアフリー新法について」、「福祉機器に関する最近の話題」)

セミナー(都市計画学会中国四国支部との共催)(2008/8/30「都心部における生活交通とまちづくり～広島市内の自転車交通を中心に～」)

講演会・見学会(障害のある人々を支援する科学学会との共催事業)(200/11/23「視覚障害者誘導用ブロックに関する国内外の動向」、「視覚障害者誘導用ブロックの視認性に関する実験」、徳島大学工学部総合実験研究見学)

講演会「タウンモビリティ活動の現況」(2008/12/7)

交流定住シンポジウム(都市計画学会中国四国支部との共催事業)(2009/1/31 基調講演「近年の二地域居住への期待と、クラインガルテンの評価と可能性」、パネルディスカッション「多地域居住の可能性を探る」)

呉・芸南地域高専大学連携センター市民支援セミナー(2009/2/24「脳卒中早期発見が命を救う!」、「老後の備えはこれで安心ー相続、遺言、後見ー」、「豪雨による斜面災害への備えについて」、実技指導・交流会「体力測定・健康度チェック・脳卒中の応急処置法・骨密度測定・健康相談・指導」)

三原市中心市街地活性化シンポジウム「誰もが安心して暮らせるまちづくりへ向けて～英国のショッピングモビリティに学ぶ～」(2009/2/28 基調講演「まちと人を元気にするユニバーサルデザイン」、「英国のショッピングモビリティの実践から」、パネルディスカッション「三原市中心市街地における福祉とまちづくりを考える」)

1-8-6 九州支部 支部長 斎場三十四

九州支部大会および総会の開催(2008/12/6 第8回日本福祉のまちづくり学会九州支部宮崎大会研究発表会、九州支部総会、第6回観光バリアフリー講座)

議案-2 2008年度決算報告

平成 20年 4月 1日 から 平成 21年 3月 31日まで					
(第11年度)				(単位:円)	
科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
I 収入の部					
1.	会費収入	4,100,000	3,889,000	211,000	
	正会員	3,600,000	3,520,000	80,000	
	学生会員	300,000	189,000	111,000	
	入会金	200,000	180,000	20,000	
2.	法人会費	906,000	866,000	40,000	
	法人会費	800,000	740,000	60,000	
	賛助会員	100,000	120,000	▲ 20,000	
	入会金	6,000	6,000	0	
3.	事業収入	420,000	299,150	120,850	
	研究会参加費	30,000	60,460	▲ 30,460	
	刊行物販売等	300,000	138,240	161,760	
	広告収入	30,000	0	30,000	
	論文掲載料	60,000	100,450	▲ 40,450	
4.	雑収入	12,498	5,940	6,558	
	振込手数料	-	525	-	※1
	送料	-	4,230	-	※2
	受取利息	-	1,185	-	
	当期収入合計	5,438,498	5,060,090	378,408	
	前期繰越収支差額	1,373,502	1,373,502	0	
	収入合計	6,812,000	6,433,592	378,408	
II 支出の部					
1.	事業費	3,980,000	2,803,293	1,176,707	
	全国大会支援費	400,000	400,000	0	
	講習会等	100,000	0	100,000	
	学術研究委員会	150,000	106,960	43,040	
	会誌	1,700,000	1,518,400	181,600	
	謝金(外部査読者へ)	30,000	0	30,000	
	ホームページ作成・管理費用	200,000	175,755	24,245	
	入会案内印刷	200,000	0	200,000	
	選挙関連費用	300,000	289,903	10,097	
	学会体制検討のための作業	500,000	0	500,000	
	支部支援費	300,000	162,000	138,000	
	総会運営費	100,000	150,275	▲ 50,275	
2.	管理費	2,550,000	1,592,238	957,762	
	事務経費(人件費)	1,300,000	943,730	356,270	
	事務用品費	150,000	32,792	117,208	
	印刷費	70,000	77,700	▲ 7,700	
	通信費	200,000	135,164	64,836	
	交通費	800,000	392,790	407,210	
	会議費	30,000	10,062	19,938	
3.	積立金繰入支出	100,000	100,000	0	
4.	予備費	182,000	7,000	175,000	※3
	当期支出合計	6,812,000	4,502,531	2,309,469	
	当期収支差額	▲ 1,373,502	557,559		
	繰越収支差額	0	1,931,061		
※1 学会費重複納入の返金に伴う送金手数料の会員負担金					
※2 刊行物購入に伴う送料の会員負担金					
※3 重複納入学会費の返金(正会員:5000円)・学生会員の納入金額間違い返金(2000円)					

財 産 目 録

平成 20年 3月 31日 現在
(第11年度)

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金預金			
	(1)普通預金		
	東京三菱UFJ銀行青葉台支店	1,107,613	
	(2)郵便口座	796,065	
	(3)事務局預かり金	27,383	
	流動資産小計	1,931,061	
	流動資産合計		1,931,061
2. 固定資産			
(1)積立金			
	(1)普通預金		
	東京三菱銀行虎ノ門支店	1,700,000	
	固定資産合計		1,700,000
資 産 合 計			3,631,061
II 負債の部			
1. 流動負債			
	流動負債合計	0	
2. 固定負債			
	固定負債合計	0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			3,631,061

議案-3 監査報告

監査報告書

日本福祉のまちづくり学会会則第10条第5項の規定に基づき、平成20年度の収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録並びに関係帳票を閲覧、検討した結果、日本福祉のまちづくり学会の平成20年度決算収支内容は正確かつ適正であるとともに、その業務執行状況は適正であることを認めます。

平成21年 5月 22日

日本福祉のまちづくり学会

監事 黒 峯 隆



監事 阿部祥子



議案-4 2009・2010年度役員案

- 会 長：高橋儀平（東洋大学）
副会長：秋山哲男（首都大学東京）
古瀬 敏（静岡文化芸術大学）
新田保次（大阪大学）
藤井直人（神奈川県総合リハビリテーションセンター）
理 事：小山聡子（日本女子大学） 鎌田 実（東京大学）
北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所） 川内美彦（東洋大学）
三星昭宏（近畿大学） 八藤後猛（日本大学）
*尚、理事会には各支部長の出席を求める
幹 事：阿部祥子（佛教大学） 磯部友彦（中部大学）
今田寛典（広島文化学園大学） 今西正義（D P I 日本会議）
大森宣暁（東京大学） 岡田 明（大阪市立大学）
男鹿芳則（世田谷区役所） 糟谷佐紀（神戸学院大学）
狩野 徹（岩手県立大学） 佐藤克志（日本女子大学）
相良二郎（神戸芸術工科大学） 鈴木克典（北星学園大学）
高井広行（近畿大学） 竹島恵子（交通エコモ財団）
竜口隆三（西日本工業大学） 田中直人（摂南大学）
土橋喜人（JICA） 中野泰志（慶応大学）
永元真也（アルメック） 野口祐子（聖学院大学）
長谷川万由美（宇都宮大学） 林 豊彦（新潟大学）
林 隆史（JICE） 阪東美智子（国立保健医療科学院）
原 利明（鹿島） 原 文宏（北海道開発技術センター）
森崎康宣（連空間設計） 山田 稔（茨城大学）
監 事：黒寄 隆（フロンティア法律事務所）
沢田大輔（交通エコモ財団）

事務局長：小山聡子（日本女子大学）

- 支部長：北海道支部 鈴木克典
東北支部 狩野 徹（支部長代行）
関西支部 新田保次
東海支部 磯部友彦
中国四国支部 今田寛典
九州支部 齋場 三十四

議案-5 2009年度事業計画案

5-1 学術研究委員会 委員長 磯部友彦

＜目的＞学会として取り組むべき研究分野・課題（集中的な討議を必要とするもの、萌芽的であり今後の発展が期待できるもの、他学会等との有益な協力関係がとれるもの、等）についての研究を推進し、その成果を社会還元する。とくに、適時的かつ集中的な活動が必要な研究分野・課題については特別研究委員会（2009年度は5件）を組織する。

＜活動内容＞特別研究委員会における研究を推進する。新たな共同研究課題の発掘・推進のために研究会や勉強会を設置する。学会における成果に基づいた講習会・セミナー等を開催する。

＜活動予定＞委員会を2回（総会、全国大会の時に）開催する。他に、Eメール等により委員同士の意見交換を行う。

5-1-1 特別研究委員会

（1）法制度特別研究委員会 委員長 永元真也

＜目的＞2008年度までの活動を継続し、バリアフリー新法による委任条例及び福祉のまちづくり条例について、全国の動向と、バリアフリー基本構想との連携など今後の展開について研究を行う。

＜活動内容＞＜活動予定＞委員は公募により新たに募集する。活動は、先進的な取組についての講演など、公開研究会方式で行い、2ヶ月に1回のペースで実施する。

（2）福祉交通サービス特別研究委員会 委員長 藤井直人

＜目的＞主として公共交通が利用できない移動困難者（障害者・高齢者）を対象として、リフト車両等を用いてNPO 団体、道路運送法限定4条のリフト付きタクシー、福祉輸送を行っているタクシー会社などが提供する予約を前提とした送迎サービスを言う。これらのSTサービスの利用者ニーズ問題、運営の仕組みの問題、制度問題などを議論する。

＜活動内容＞＜活動計画＞年に1～2回、会員等に向けたセミナーを開催する。今年度は、2009年5月19日にロンドンのSTサービスのセミナーを開催した。10月には「福祉交通の情報・配車センター」のセミナーを開催する。

（3）情報障害特別研究委員会 委員長 中野泰志

＜目的＞＜活動内容＞視覚障害や聴覚障害等により情報へのアクセスが困難な人達への情報保障の現状・課題を明らかにし、理想的な保障の在り方を勉強会等を通して検討する。公開シンポやセミナー等を開催し、普及・啓発に努める。

＜活動計画＞駅案内サイン、音サイン、歩行者誘導の3つのWGで活動を展開する。総会においてシンポジウムを、全国大会において研究討論会を開催する。その他、公開セミナーを企画する。

（4）子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川万由美

＜目的＞＜活動内容＞研究会やセミナーを通じて、福祉のまちづくりを子どもの健やかな育ちや子育て支援の観点から見直し、必要な施策やサービス、まちづくりのあり方を検討する。

＜活動計画＞研究会（4～5回）、学会大会でのランチョンセミナー、市民公開セミナーを開催予定。MLを通じた委員を中心とした情報交換も行う。

（5）観光・まちづくり特別委員会 委員長 秋山哲男

＜目的＞観光に関するまちづくりを中心に、勉強会、講演会、観光地の訪問などを中心に行う。

＜活動内容＞＜活動計画＞6～7月中にメンバーの募集を行う。7月に暫定的に首都大学東京（南大沢2-2パオレビル10階（7月11日13:30～JTB元会長、7月21日10:30～14:30 7月28日10:30～）においてセミナーを行う。

5-2 会誌委員会 委員長 八藤後猛

＜目的＞本学会の会誌発刊をとおして、会員へ向けて最新情報をはじめとした情報提供、本会ならびに各委員会、

各支部活動の報告、会員相互のコミュニケーションの円滑化をはかる。

<活動内容><活動計画>2009年7月15日 会誌Vol.11 No.1 発刊予定、2009年度総会報告、特集「知的障害のある人が暮らしやすいまちづくり」(判断力に制約のある人にとってのまち)

2010年1月15日、会誌Vol.11 No.2 発刊予定、平成21年度 福祉のまちづくり学会全国大会、第12回全国大会(帯広)報告、他

<会誌企画内容以外の検討事項>

<新規> 会誌 編集基本レイアウト、デザインの変更、発刊回数増加の検討

<継続> 会誌における情報保障、電子媒体による情報提供の可能性

5-3 論文委員会 委員長 岡田 明

<目的>わが国の福祉のまちづくりに関する学問・技術の中心的な発表機関として機能する論文集とすることを目的とする。このため独創的で水準が高く、学問・技術の進展にとって有用な論文・論説・報告等を掲載する。

<活動内容>

- ・福祉のまちづくり研究への原稿の投稿募集
- ・投稿された原稿の審査
- ・会誌掲載原稿の編集取りまとめ
- ・論文委員会の開催

<活動予定>

- ・投稿論文・論説・報告等の増加に向けた取組
- ・査読体制の充実と査読の円滑化
- ・投稿原稿のPDF化に向けた検討

5-4 総務委員会 川内美彦

<目的>法人化、国際的活動、広報等を重点目標に掲げて活動する。

<活動内容>法人化、文献データベースへの加入、国際交流事業、会員増強等。

<活動予定>ア) 法人化に向けての定款案等を提示する。イ) 文献データベースへの加入に向けて著作権規定を明確にするなど引き続き作業を続けていく。ウ) 国際交流事業の一環としてJICA「障害者支援分野課題別支援委員会」に学会として委員を派遣。またアジア諸国との国際シンポジウムを計画するなどして情報発信に努める。エ) 学会関連のイベントには、必ずパンフレット等を置くようにして学会の認知度を高め、会員増強を図る。

5-5 支部事業

5-5-1 北海道支部 支部長 鈴木克典

(1)福祉のまちづくりに関する研究会(セミナー等)を帯広市他で開催企画予定。

(2)全国大会準備作業

現地事務局として大会実行委員会を設置準備中。8/22~8/24 第12回全国大会 in 帯広

5-5-2 東北支部 支部長代行 狩野 徹

(1)支部体制の見直しの検討の提案

岩手支所が中心になり、支部会員の意見交換の場を設け、今後の活動方針の検討を提案。

(2)岩手における実践報告

会員向けの研究会等(勉強会含む)を年2回程度企画、実施する。

5-5-3 東海支部 支部長 磯部友彦

<目的>東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)を対象地域とし、地域に根ざした学会活動を遂行する。

<活動内容>支部としての組織づくり(支部規約の制定、活動方針の検討、会員の勧誘など)を進める。同地域の各種団体、行政、研究機関等と交流し、協力関係を進める。

<活動予定>支部の総会を開催する。支部主催の勉強会、セミナー等を企画し、開催する。研究対象地域を設定

し、共同研究を遂行する。2010年度第13回全国大会（愛知県刈谷市、2010年8月29日～31日予定）に向けての準備活動を推進する。

5-5-4 関西支部 支部長 新田保次

(1) 支部主催のセミナー等

主催セミナー2回開催予定(2009/6/18「障害者差別禁止法の動向について(仮)」、2009秋頃「バス、福祉有償運送など地域交通のあり方について」)

勉強会2～4回開催予定(2009/5/16「高齢ドライバーの増加とまちづくりに向けた課題について」)

(2) 研究会活動「音と光とサインを用いた歩行者誘導研究会」

①研究メンバーの公募

②研究会開催(年5回程度)

(3) 会議・打合せ等

2009年度 関西支部役員会(2009/4/20)

2009年度 関西支部総会(2009/6/18)

(4) 他学会等への事業への後援

5-5-5 中国四国支部 支部長 今田寛典

(1) セミナー等

2009/6/20 中国四国支部総会・講演会(「建築におけるユニバーサルデザイン」、「市民協働のまちづくり—社会学の視点から—」)

2009/9 第1回セミナー(「タイのバリアフリーの実態」)

2009/11 福祉のまちづくり市民支援セミナー

2009/12 第2回セミナー(「呉市におけるバリアフリーの取り組み」)

(2) サロン

2、3回のサロンを実施する予定である。

(3) 他機関との連携

都市計画学会中国四国支部、大学、行政との共催事業を積極的に実施する。

5-5-6 九州支部 支部長 斎場三十四

第9回日本福祉のまちづくり学会九州支部長崎大会の開催(日時、場所未定)

5-6 第12回全国大会 実行委員長 鈴木克典

大会テーマ：福祉・環境・共生の地域づくり

開催日時：2009年8月22日(土)～24日(月) 開催場所：とまちプラザ(北海道帯広市)

プログラム

1) 公開シンポジウム(無料プログラム)(2009年8月23日(日))

・シンポジウムテーマ：福祉・環境・共生の地域づくり —地域で共に生きるために—

2) 研究発表会(2009年8月22日(土)、23日(日))

3) 研究討論会(4テーマを予定)(2009年8月22日(土))

①案内、誘導、情報バリアフリーの現状と課題

②観光モビリティ、バリアフリーの現状と課題

③福祉と介助動物、共生のまちづくりの現状と課題

④地域における共生の現状と課題 —知的・精神障害者、高齢者等の地域福祉—

4) 展示会(2009年8月22日(土)、23日(日))

5) 交流会(2009年8月22日(土)) 会場：帯広競馬場 内容：バーベキューパーティ

6) 現地視察 ①福祉活動状況視察コース ②とまち帯広観光体験コース

③シーニックバイウェイ視察コース

議案-6 2009年度予算案

収入の部	予算額	前年度決算
1. 会費収入	4,280,000	3,889,000
正会員	5,000 × 770 名	3,850,000
学生会員	3,000 × 90 名	270,000
入会金	2,000 × 80 名	160,000
2. 法人会費	836,000	866,000
法人会員	10,000 × 71 口	710,000
賛助会員	20,000 × 6 口	120,000
入会金	2,000 × 3 社	6,000
3. 事業収入	290,000	299,150
(講演会・研究会による参加費)	60,000	60,460
(刊行物販売等)	100,000	138,240
(広告収入)	30,000	0
(論文掲載料・査読料)	100,000	100,450
4. 前年度繰越金	1,931,061	1,373,502
5. 雑収入 (利息等)	12,939	5,940
合 計	7,350,000	6,433,592

支出の部	予算額	前年度決算
1. 事業費	2,880,000	2,803,293
大会 全国大会支援費 (北海道20、東海20)	400,000	400,000
学術 講習会等	150,000	0
学術 学術研究委員会 (法制度、観光・まちづくり、福祉交通、情報障害、子育て)	300,000	106,960
会誌 会誌 (論文含む、印刷・企画) 500,000 × 2 回	1,000,000	1,518,400
論文 謝金 (査読者謝金) 5,000 × 20 名	100,000	0
総務 ホームページ維持管理	180,000	175,755
総務 入会案内印刷 (パンフレット・リーフレット)	250,000	0
総務 選挙関連費用	0	289,903
総務 学会体制検討のための作業	0	0
地方 支部支援費 (関西,九州,東北,北海道,中四国,東海)	350,000	162,000
総会 総会運営費 (資料印刷代・情報保障費)	150,000	150,275
2. 管理費	3,200,000	1,592,238
事務局本部人件費	1,000,000	943,730
事務委託費	950,000	-
事務用品費	50,000	32,792
印刷費 (封筒、幹事会資料等)	150,000	77,700
通信費 (切手代・宅配便等)	50,000	135,164
交通費 (理事・幹事交通費等、全国大会時の開催を除く)	900,000	392,790
会議費	100,000	10,062
3. 積立金	200,000	100,000
4. 予備費	1,070,000	7,000
合 計	7,350,000	4,502,531